

高い天井高で暮らしはどう変わる？オーナーさま 840 名に聞きました！

～95%以上が開放感を実感。数字では測れないリアルな暮らしの変化とは～



大和ハウスの注文住宅では、一般的な天井高よりも高い「2m72cm」を標準仕様※1として採用しています。このゆとりある天井高が、実際の暮らしにどのような変化をもたらしているのか。そのリアルな日常を伺うため、天井高 2m72cm の住まいにお住まいのオーナーさま 840 名を対象にアンケート調査を行いました。

その結果、天井高の効果を実感したエピソードについて、95%以上の方が「開放感がある」「明るい」といったポジティブな回答を寄せてくださいました。そこには「広さ」や「明るさ」といった視覚的な印象だけでなく、「心にゆとりが生まれた」「家族で過ごす時間が増えた」といった心理的な変化、さらには日々の暮らしの中で見つけた「天井高 2m72cm」による、のびやかな日常や広がる楽しみがたくさん詰まっていました。一方で、「冷暖房効率が気になる」「掃除が大変そう」などの率直な課題の声も寄せられています。

オーナーさまの声と調査結果をもとに、天井高 2m72cm の住まいがもたらす価値と課題をありのままにお伝えするとともに、その裏側で大和ハウスがどのような設計・技術的工夫

を行っているのかを、コラムとあわせてご紹介します。

調査サマリー

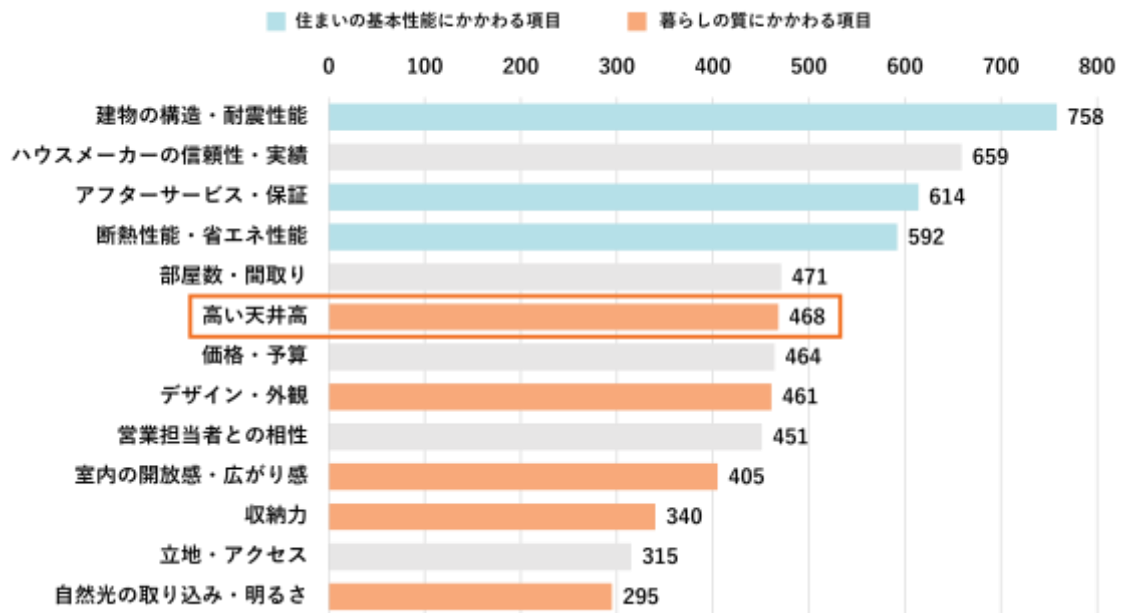
- ✓ 9割超が天井の高さによる開放感を実感し、明るさの向上や心のゆとりを感じている。
- ✓ 入居後の満足度は期待を大きく上回り、「明るさ」や「広がり感」など複数項目でポジティブなギャップが発生。
- ✓ クリスマスツリーや観葉植物、子どもとの遊びなど、天井の高さを活かした暮らしの楽しみが広がっている。
- ✓ 天井が高いことで空調効率を不安視する声がある一方、断熱性能により想定より快適に過ごせているという声もみられた。
- ✓ 6割以上が「天井の高さが契約の決め手になった」と回答し、基本性能に次ぐ重要項目として評価。

アンケート結果から見えてきた、住まい選びにおける「高い天井」の存在感

今回の調査では、天井高 2m72cm を採用した住まいにお住まいのオーナーさま 840 名に対し、住宅を検討される際の重視点や決定要因、さらに入居前後の期待と満足度の推移などについてお聞きしました。

アンケートの結果、住宅を検討される際の重視項目では、「建物の構造・耐震性能」や「アフターサービス・保証」「断熱性能・省エネ性能」といった住まいの基本性能に続いて、「高い天井」がランクインしています。

Q.住宅を検討される際に重視された点を全てお選びください。（複数回答）



ここで注目すべきは、「耐震」「断熱」といった住まいの土台となる性能や、「部屋数・間取り」「価格」などの必須条件を除いた、いわゆる“暮らしの質”に関わる項目の中では、天井高がもっとも高く評価されているという点です。デザイン性や採光、収納力といった数ある付加価値要素を抑え、天井高が基本性能に次いで「住まいの心地よさ」を左右する優先事項となっていることが、今回のアンケート結果から浮き彫りになりました。

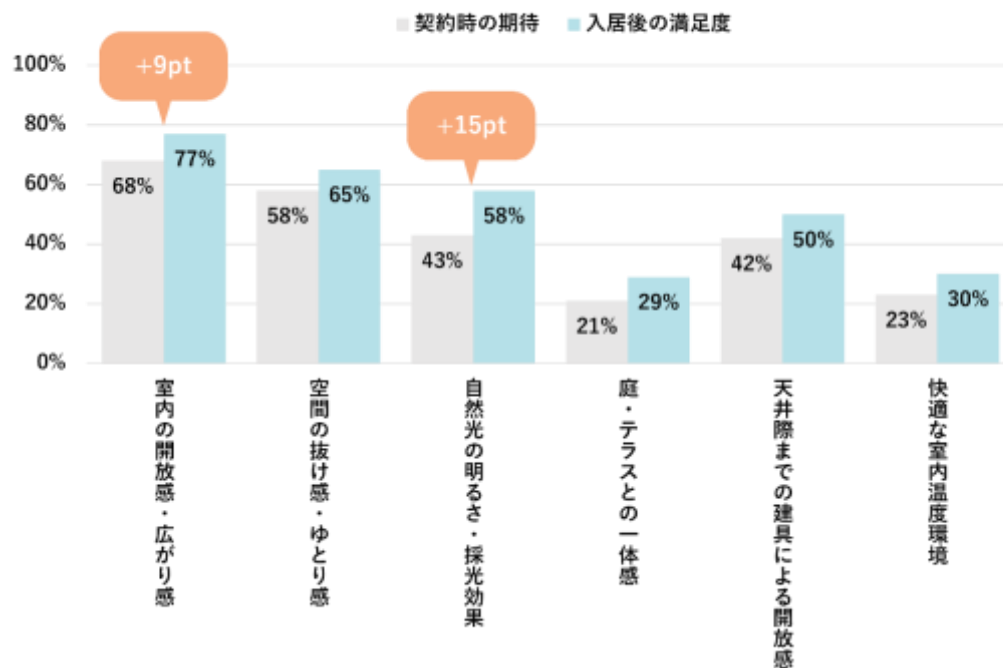
住んで実感した開放感と「暮らしの広がり」、その背景にある技術

住んでから気づいた、のびやかな日常と広がる楽しみ

今回の調査では、契約時点での期待と入居後の満足度の差も確認しています。その結果、天井高に関する複数の項目で、「期待していた以上に満足している」という傾向が見られました。

例えば、「自然光の明るさ」について「期待していた」と回答した方は43%だったのに対し、「満足している」と答えた方は58%と、15ポイント上昇していました。「室内の開放感・広がり感」も、契約時の期待68%に対して入居後の満足は77%と、期待以上の結果となっています。事前の説明やモデルハウスである程度のイメージを持っていたにもかかわらず、「実際に暮らしてみると、それ以上に良かった」と感じている方が多いようです。

契約時の期待値と入居後の満足度の推移（非常に期待・非常に満足）



開放感の感動と、心に生まれるゆとり

天井高 2m72cm の効果を実感した具体的なエピソードを尋ねたところ、オーナーさまの95%以上が「開放感がある」「明るい」といったポジティブな回答を寄せています。

自由回答からは、空間が広く感じるという視覚的なメリットだけでなく、日々の過ごし方や気持ちの変化が見えてきました。実際に寄せられたオーナーさまの声をご紹介します。

実際の広さ以上に感じる「開放感」



LDK は 16～17 帖と決して広くありませんが、天井が高いことで実際以上に広がりを感じます。



当初それほど重要視していませんでしたが、住んでみると広く感じられることを実感しています。

「心のゆとり」と「家族の時間」の変化



高天井にしたことで自宅がより心地よい空間になり、自然と帰宅時間が早くなり、家族と過ごす時間も増えました。



天井が高く、空間にゆとりを感じることで、
時間の流れまでゆったり感じられ、精神的な余裕も生まれています。

窓やドアが引き立てる、さらなる開放感



リビングには天井高 2m72cm いっぱいのガラスサッシを採用。
冬でも部屋の奥まで光が届き、とても明るいです。



天井が高いことで部屋全体が広く感じられ、
建具も天井高に合わせているので、より高さのメリットを実感します。

これらの声から見てきたのは、天井高 2m72cm がもたらす価値は、単に「空間が広い」という物理的な側面だけではないということでした。視界が開け、自然光が部屋の奥まで届くことで、同じ面積でも数字以上の「広がり」を感じ、それが住まう人の気持ちにまで「ゆとり」を与えていたことがうかがえました。家が一番リラックスできる場所になったことで、家族と過ごす時間が自然に増えるなど、天井の高さは「暮らしの質」そのものを底上げする大切な要素となっていました。

さらに、その心地よさは住んでいるご家族だけでなく、訪れる方々にも伝わっていました。ご友人や親戚からは「玄関を入った瞬間に広さを感じる」「明るくて気持ちがいい」といった言葉をかけられることが多く、なかにはお子さまの友達から「天井が高くてすごい！」と驚かれたというエピソードもありました。こうした周囲の反応や、他宅を訪れた際に改めて「我が家の開放感は落ち着く」と実感する瞬間が、オーナーさまの住まいへの納得感をより深めていました。

このように、高い天井が生み出すゆとりは、日常の何気ない会話やふとした瞬間の気づきを通じて、住み始めてからも途切れることのない満足感に繋がっていました。



さらに自由回答からは、契約時には想像していなかった、高天井による「伸びやかな日常」や「趣味の広がり」を喜ぶ声が多数寄せられました。

高さがあるからこそ叶う、家族の楽しみ



2m 超えの大きなクリスマスツリーを飾るのが夢でした。
実際に飾ってみるとその存在感に感動します。



子どもを肩車しても天井に当たらないので、
室内でも思いっきり遊んであげられます。

日々の何気ないシーンでの心地よさ



大きな観葉植物や背の高い家具を置いても圧迫感がなく、
インテリアの選択肢が広がりました



室内干しの洗濯物が目線にかからず、
生活感が出にくいので助かっています。

これらの声は、天井高 2m72cm が単に見栄えを良くするだけでなく、ご家族の「家の中でできること」や「空間の使い方の自由度」を大きく広げていることを物語っています。天井の高さによって暮らしの可能性が豊かになる――オーナーさまは、まさに“住んでから分かった本当の価値”を日々実感されています。

高天井は、いいことばかりではない？ ―― 暮らして感じた本音と、それを支える技術

一方で、天井高 2m72cm ならではの課題や不安についても、率直な本音として寄せられました。例えば、「照明やカーテンレールが高くて手が届かない」「掃除やメンテナンスが大変」といった声も聞かれましたが、これらに対しては脚立を上手に活用するなど、高さゆえの手間を日々の工夫で前向きに解消されている様子が見えられました。

また、日々の工夫だけでは解決しにくい「冷暖房効率」や「光熱費」といった性能面への懸念もあがっていました。一般的に、「天井が高いと冷暖房効率が悪く、夏は暑く冬は寒いのでは？」というイメージをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。こうした大空間における不安を少しでも安心に変えられるよう、大和ハウスが大切にしてきたのが断熱性能へのこだわりです。

その答えとして、大和ハウスの注文住宅では、独自の「内外ダブル断熱」によって ZEH（ゼッチ）基準を上回る「断熱等級 6」を標準化※2。家全体を包み込むこの断熱性能により、広々とした大空間であっても外気の影響を最小限に抑え、一年中心地よい室温と光熱費の抑制を両立する住まいのかたちを実現しました。

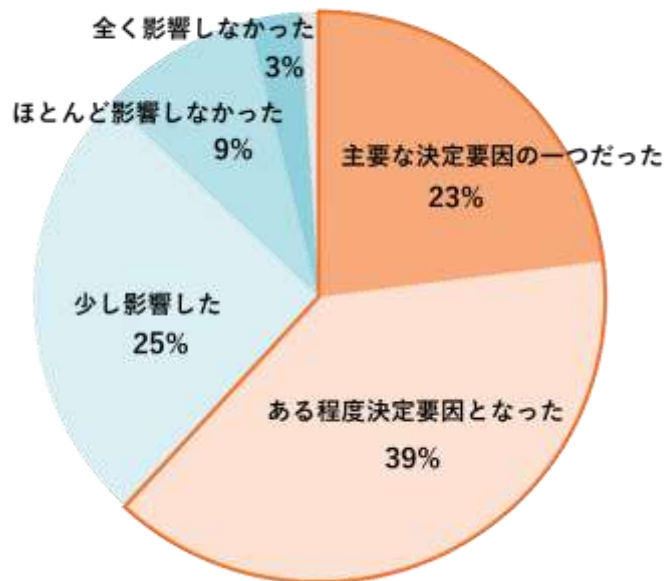
今回のアンケートでも「天井は高いが、エアコンの効きが良く光熱費も想定内に収まっている」といった声が寄せられており、こうした高い断熱性能こそが、開放感のある暮らしを安心して楽しむための確かな土台となっています。

「天井の高さ」が、住まい選びの確かな決め手に

こうした「開放感」と「快適性」の両立は、住まいを検討される多くの方にとって、大切な判断基準となっているようです。今回のアンケートで、「天井高 2m72cm であることが、ご契約を決定する際の要因となりましたか？」と伺ったところ、全体の約 6 割以上ものオーナーさまが「決め手になった」と回答されました。

耐震性や断熱性といった「住まいの基本性能」を大切にするのはもちろん、その上で、この高さが生み出す「のびやかな日常」が、多くの方にとって住まい選びの確かな納得感に繋がっていることがうかがえます。

Q.天井高2m72cmであることがご契約を決定する際の要因となりましたか？



開放感を実現する設計と技術—開発者が語る 2m72cm の価値

天井高 2m72cm という大空間をつくる上では、見た目の開放感はもちろん、構造の強さや断熱、空調の効きといった性能面を、いかに高いレベルで両立させるかが住まいづくりの大切なポイントになります。今回の調査結果で明らかになった「心理的な快適さ」や「暮らしの自由度」、そして一部に寄せられた“冷暖房効率への不安”といった声に対し、設計や技術の観点からどのように応えてきたのか——その裏側を、開発者は次のように語っています。

「2m72cm という高さは、最初から天井を高くすることを目的に決めた数字ではありません。人が空間を豊かに感じる開放感と、守られていると感じられる安心感、その両方が成り立つ高さを探る中でたどり着いたのが2m72cm でした。研究結果でも、2m72cm 以上で多くの人が広がりを感じる一方、2m80cm を超えると居心地が悪くなる傾向があり、そのバランスを大切にしています。」

また、今回のアンケートで多く寄せられた「家族が集まりやすくなった」「心に余裕が生まれた」といった声について、開発者はこう続けます。

「アンケート結果を見て、空間の広さ以上に、暮らしの中での心の変化が表れていると感じました。圧迫感がなくなった、気持ちにゆとりが生まれた、ストレスフリーといった言葉が多く、私たちが目指していた“住んでからの快適さ”を実感していただけていることが伝わ

ってきました。」

さらに、これだけの大空間をどうやって叶えたのか——その開発の裏側について、開発者は次のように明かします。

「実は、高い天井を目的に開発をスタートしたわけではありません。耐震性や断熱性をこれまでの基準以上に進化させるという『本質的な課題』に向き合い、骨組みそのものを強く安定させた結果として、実現できたのがこの高さなのです。性能を高めたからこそ、開放感と快適性が両立する空間が生まれました。」



コラムでは、アンケート結果をもとに、「天井の高さ」が暮らしの中でどのように受け止められているのかをひも解いています。住まいを検討する際に重視されたポイントや、入居後に感じた変化、満足度の声などをもとに、開放感と耐震性・断熱性といった基本性能をどのように考えてきたのか、開発者のコメントも交えてご紹介します。

調査データと開発の視点、両方から見てきた住まいづくりの考え方を、ぜひコラムでご覧ください。

▶ 840名のオーナー様が語る、天井高 2m72cm の“期待以上の心地よさ” アンケートで明らかになった「95%が満足」の理由とは？

天井高 2m72cm の住まいは、「広さ」や「開放感」といった印象を超えて、心のゆとりや家族が集まる時間など、暮らしそのものを豊かにする価値を生み出しています。実際に住んで初めて気づく“自由な使い心地”も多く、天井の高さが日々の過ごし方に心地よい変化をもたらしていることが分かりました。

その“大空間なのに快適”という価値は、長年にわたり積み重ねてきた住まいづくりの知見と、快適性へのこだわりによって支えられています。大和ハウスは、ご家族の今と未来を見つめ、理想の住まいをつくり続けます。

現在、大和ハウスでは「春の住宅フェア」を開催中です。多くのオーナーさまが日々実感されている、「大空間×高断熱」による心地よさを、ぜひお近くの展示場でご体感ください。

▶ [\[春の住宅フェア | 注文住宅 | ダイワハウス\]](#)

▶ [お近くの展示場を探す・来場予約はこちら](#)

※1：天井高は 2m40cm、2m72cm、さらに 2m80cm、3m8cm と 3m16cm（1 階のみ）の仕様を選ぶことができます。天井高については間取りや建設地、建築基準法（法令）等により、対応できない場合があります。

※2：対象商品：xevo Σ PREMIUM、xevo Σ、PREMIUM GranWood、xevo GranWood、xevo BeWood、skye、skye3。間取り・仕様・地域等により対応できない場合があります。

<調査概要>

調査手法：WEB アンケート

調査期間：2025 年 10 月 2 日～2025 年 10 月 16 日

調査対象：天井高 2m72cm を採用した当社オーナーさま

回答者数：840 名